※令和４年度以降入学生用

学校番号	４１４

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

感じたことを表現するための技能をきっちりと身につける「絵画、彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、版画の作品をカレンダーとして展示発表することによって他の人の作品をみとめあう「鑑賞」等、学習します。一人ひとり見方、感じ方が違います。自分なりの感じ方、見方、表現を深めていきましょう。

２　学習の到達目標

a:造形的なよさや美しさを感じ取り、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的に表現することができるようにする。
b:目的や条件に応じて豊かな発想をし、構想を練り、デザインし制作する能力と態度を育てる。
c:主体的に創造活動に取り組み、つくり出す喜びを味わうとともに、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め、必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表現するようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し、創造的に発想し、構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="5">1学期</td><td rowspan="2">美術ってなに(P2～P5)</td><td>・オリエンテーション
教科書、先輩の作品等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、美術Ⅰについてイメージする</td><td rowspan="2">a:作品づくりの目的を理解し、鉛筆の特性を生かし表現しているか
b:美術作品のよさや美しさを感じ取り理解を深めている
c:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高める</td><td></td><td></td><td>関心を持って取り組もうとしているか</td></tr>
<tr><td>・クロッキー</td><td>技術の修得と作品</td><td>制作の様子</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">鉛筆デッサン(P128～P131)</td><td>鉛筆デッサン
①　エンピツデッサンの基礎
・エンピツの削り方
・消しゴムの使い方
・エンピツの使い方
・物のとらえ方</td><td rowspan="2">a:基礎となるエンピツデッサンに関心を持ち、エンピツの使い方、表現の方法を学ぶ　描き分け、表現方法を工夫している
b:単に二つの物を描くのではなく、想像力を働かせて構成し、作品とする
c:物をよく観察し、手とつるを描き分ける努力をし、主体的に取り組もうとする</td><td>技法の修得と作品</td><td></td><td>ワーク</td></tr>
<tr><td>②　「手とつる」を描く
素材の違いを描き分ける</td><td>描き分けの技法
作品</td><td>スケッチ
構想</td><td>ワーク
鑑賞</td></tr>
<tr><td rowspan="2">植物を描く(P10～P11 P132～P133)</td><td>「花を描く」
水彩色エンピツを使って花を描く
①　水彩色エンピツの使い方</td><td rowspan="2">a:水彩色エンピツの特性を理解してよく見て表現している
b:画面の中に花をいかにインパクトがあるように構成、表現するか考える
c:花を描くことに関心を持ち、形、構成など工夫し、表現しようとする</td><td>色エンピツの使い方修得</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>花を見て描きましょう</td><td>制作の様子</td><td>スケッチ
構想</td><td>ワークの様子
鑑賞</td></tr>
</table>

※令和４年度以降入学生用

２学期	カレンダーをつくろう(P30～P35 P36～P37)	凸版画を利用して カレンダーをつくる ①　凸版画についての基本を学ぶ ②　版をつくる ・下絵をきっちりと描く ・トレーシングペーパーにうつし版木にうつしとる ③　版木を彫る ④　版を刷る ⑤　１版１色刷りで刷った版画に裏から水彩画で彩色する ⑥　カレンダーに作品をはって完成 ◎相互鑑賞 クラスでの発表、構内展示	a:彫刻刀の適正な使い方、版の作り方、刷り方、裏彩色するセンス等、表現方法、技能など工夫、習得している b:カレンダーとして１年間見るデザイン、形、色など工夫して表現の構成を練っている c:版画について学んでカレンダー制作についてイメージを持ち、作品に取り組む意欲をもつ	制作途中の作品	・アイデアスケッチ ・制作途中の作品	版画について関心を持てるか 制作の様子 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

3学期	想像を形に(p24～p25)　ポスターで伝える(p70～p73)	「モダンテクニックを学ぶ」 ・教科書、先輩の作品等から作品の鑑賞 ①　技法の習得 ・フロッタージュ ・マーブリング ・スパッタリング等の技法 ②　モダンテクニックを利用して「ポスター制作」 テーマ 「好き！」「嫌い！」「大切に！」「ありがとう！」この4つの中から1つ選んでポスターをつくる ◎相互鑑賞 ・クラスでの発表 ・文化祭展示	a:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して主題を追及して表現している b:テーマを基に感性や想像力を働かせて表現方法の特性を生かして、色彩、構成、文字等を工夫して創造的な表現の構想を練っている c:テーマを基に自分の内面を見つめて表現することに主体的に取り組む	技法を進んで習得しようとする 表現に工夫があるか 作品	・アイデアスケッチ ・ワークシート ・制作途中の作品	グループワークの様子 制作途中の作品 作品 ・鑑賞 ・活動の様子 ・ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度